

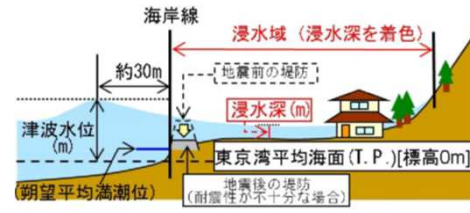
津波に対する避難等安全行動

- ◎沿岸部や河川沿いにいる人は、地震の揺れがおさまったら、ただちに高台や堅牢な高層階建物などへ避難しましょう。
- ◎ここなら安全と思わず、また遠くへ避難するというよりは、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ◎逃げ遅れないよう津波警報・注意報の発表を待たずにただちに避難し、安全な場所に避難してから情報収集しましょう。
- ◎津波は長時間繰り返します。波が引いても、津波警報・注意報が解除されるまで海岸・河川には近づかないようにしましょう。
- ◎津波警報・注意報は、気象庁から発表され、テレビや防災行政無線、携帯電話に伝達されます。

●津波が最も高くなるケース
 海面変動影響開始時間 13分
 最高津波到達時間 34分
 最高津波水位 2.3m

●津波が最も早く到達するケース
 上記と同じ

深さ	概況
4.0m以上	ほとんどの家が流出する
2.0m～4.0m未満	ほとんどの家が全壊する
1.0m～2.0m未満	全壊被害が始める
0.3m～1.0m未満	過半数の家が半壊する
0.3m未満	人が歩くことが困難になる



宮津市 津波ハザードマップ 由良地区

- 地震発生時にすべきこと
- ①まずは落ち着いて、自分の身を守りましょう。
 - ②山・川・海のそばからは、すぐに避難しましょう。
 - ③電気ブレーカーを切り、初期消火をしましょう。
 - ④余震に注意し、安全な場所で情報収集しましょう。



緊急避難場所
 大地震等の際に緊急的に避難する屋外広場
 (津波の心配がない場合)
 ・旧由良小学校グラウンド

津波避難高台…津波から逃れるため目指す高台

金毘羅神社	奈具神社から水源地一帯
丹後由良荘周辺	瀧之不動尊山道
森ヶ鼻周辺	下石浦地区公民館周辺
上石浦地区公民館周辺	

「津波浸水想定」について
 この津波ハザードマップは、平成28年3月に京都府が実施した津波浸水想定に基づいています。
 津波浸水想定は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)の最大値を重ね合わせて表したものです。
 最大クラスの津波は、現在の科学的知見をもとに、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないものではありません。
 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

「津波災害警戒区域」について
 津波災害警戒区域とは、最大クラスの津波が発生した場合に、住民の生命・身体に危害が生じる恐れがある区域で、津波災害を防止するために警戒退避体制を特に整備すべき区域のことです。
 平成29年3月、京都府において、津波浸水想定全域が津波災害警戒区域として指定されました。

お問合せ先等

- ◆津波浸水想定・津波災害警戒区域の指定について
 京都府危機管理防災対策課 TEL: 075-414-4475
- ◆ハザードマップ、津波警戒や避難高台について
 宮津市総務部消防防災課 TEL: 0772-45-1605
- ◆拡大図、他沿岸の津波浸水想定の確認は
 宮津市ホームページ「津波」で検索

